



# 心ゆたかな たくましい子

学校便り 9月号  
平成30年9月7日  
御前崎市立浜岡東小

学校教育目標『心ゆたかな たくましい子』 重点目標『気づき 認め合おう』

## 2学期スタート

校長 岡本 敦子

8月28日(火)2学期スタートの日、額にいっぱい汗をかき、ちょっぴり恥ずかしそうな笑顔や緊張感を見せながら子どもたちが登校してきました。

2学期の始業式では、「学びづくり」と「心づくり」の部長が子どもたちに2学期のめあてを話しました。

学びのめあては、「温かい聴き方をしよう」です。温かい聴き方によって安心できる学級風土をつくと共に、相手の話を自分との相違点を見つけたり、質問を考えたりしながら真剣に聴くことで『聴く力』を付けていきます。これが学力向上に直結していきます。

一方、心のめあては、「したり、されたりすると気持ちがよいあいさつをしよう」です。「元気で、目を見て、名前を付けて」に全校で取り組んでいこうというものです。

2学期開始から1週間になりますが、教室で、正門で子どもたちの様子が少しずつ変化しています。御家庭でも是非実践してください。



## 「ありがとう」と「恩送り」で、幸せがふくらむ

先日、階段を上っていると2年生の咲希さんがお茶の入ったやかんを重たそうに運んでいました。手伝いを申し出て運んだところ、別れ際、にっこり笑顔と共に「ありがとうございました」の言葉が自然に出てきました。行為に対してのお礼ですから当たり前かもしれませんが、とても清々しい気持ちになりました。お礼の言葉が自然に言えることの素晴らしさと共に、私は「ありがとう」という言葉の力の大きさを改めて感じました。

一方、人生にはお礼の言葉を言うだけでは収まりのつかない気持ちがあります。「恩返し」「恩送り」といった行為になるものです。「恩返し」は受けた恩を直接その人に返すことで決着しますが、「恩送り」は受けた恩を別の人に施し、回り回って世の中をよくしていくというものです。

東小でも2学期に入り、東小の伝統の「ペア活動」や「もくもく掃除」の場で『恩送り』を感じています。6年生は何年も前から1年生とペアを組んで様々な場でフォローしてき



ました。清掃時間も掃除の仕方や清掃に臨む姿勢まで教えてきました。1年生が東小の一員として上手にお掃除ができるのは6年生のフォローのたまものです。

6年生の晟吾さんは、自分たちが1年生の時に受けた『恩』を1年生に伝えていと話してくれました。優しくフォローしてもらった幸せを新しい仲間へ施していく。そんな『恩送り』を大切にしていきたいと思っています。東小の子どもたちの幸せにつながるように。